

審議会等の議事の要旨(要点)

(基本情報)

会議名称	第21期第6回 立川市図書館協議会 定例会
開催日時	令和元年10月18日(金曜日) 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	立川市中央図書館 4階 会議室
次第	■図書館協議会 1 報告事項 (1) 9月議会について (2) 立川の教育及び年度別利用等の状況について 2 協議事項 (1) 第3次図書館基本計画「取組項目」等について (2) 第4次子ども読書活動推進計画「取組項目」等について 3 その他
配布資料	1. 令和元年9月議会定例会報告について 2. 立川の教育平成31年度版(2019) 3. 年度別利用等の状況 4. 図書館の臨時休館について(台風19号) 5. 図書館の臨時休館について(蔵書点検) 6. たちかわ読書ウィーク 7. 図書館で認知症予防!? 8. 第3次図書館基本計画(案) 9. 図書館基本計画の比較 10. 図書館基本計画の取組項目 11. 第4次子ども読書活動推進計画(案) 12. 子ども読書活動推進計画の比較 13. 子ども読書活動推進計画の取組項目 14. 子ども読書活動推進計画の概要
出席者	[委員] 蔵重委員、飯田委員、菊地委員、松本委員、稲葉委員、榎本委員、田村委員、真田委員、太田委員、奥田委員、井上委員 [事務局] 池田(図書館長)、李(管理係長)、小林(サービス第一係長)、米山(サービス第二係長)、堀口(調査資料係長)、森田(管理係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	(会議録参照)
担当	中央図書館管理係 電話042-528-6800

◆第21期 第6回立川市図書館協議会会議録◆

日 時	令和元年10月18日（金） 午後2時00分から午後4時00分まで
場 所	立川市中央図書館 4階会議室
出席者	藏重委員、飯田委員、菊地委員、松本委員、稲葉委員、榎本委員、 田村委員、真田委員、太田委員、奥田委員、井上委員
【事務局】	図書館長、管理係長ほか
【傍聴人】	0人

■図書館協議会

1 報告事項

- (1) 9月議会について
 - ・配布資料1のとおり
- (2) 立川の教育及び年度別利用等の状況について
 - ・配布資料2、3のとおり

2 協議事項

- (1) 第3次図書館基本計画「取組項目」等について

【図書館長より前回からの修正点等の説明】

- ①基本理念「身近な情報拠点として、暮らしに役立ち市民の学びを支える図書館」へ修正⇒「知の図書館」の「知」を削除し、委員からの指摘のとおり市民に身近な図書館として利用してもらいたいのので「暮らしに役立ち」を追加した。
- ②P2の「3 本計画と子ども読書活動推進計画」の中で、4行目の「第3次子ども読書活動推進計画」を「第4次～」へ修正。また「本計画より、」を削除。
- ③P8の「5 デジタルアーカイブ化の検討」は項目になかったが、委員からご指摘があったので載せることにした。
- ④P15の「19. 中央図書館の果たすべき役割の検討」の表現だが直営で残す業務とそうでない業務の切り分けなど内容の検討が必要なため。「検討」とした。
- ⑤P15の「20. 地区図書館の効率的かつ効果的な運営」へ表現を修正。また、老朽化している地区館の環境整備については課題とした。

⑥ P16の「22. 多様な媒体に対応したシステムの調査・研究」へ表現を修正。デジタルアーカイブ化や電子書籍などコスト面での課題があること、またコンセプトがはっきりしない中で今後検討が必要なため、「調査・研究」とした。

【委員より質疑・意見等】

- ・最後の項目で第2次計画にはあった「図書館職員の研修の充実」が削除されているがなぜか？

⇒削除したというより「24. 専門性の高い職員の育成と確保」と内容が重なるので一本化した。

- ・第2次では「デジタルアーカイブ化の推進」という表現だったが、第3次では「デジタルアーカイブ化の検討」と修正、トーンダウンしているのはなぜか？著作権50年から70年へ変更されたので厳しいとは思いますが、オープンデータ化は進めているし、取組事項にはかわりないので検討ではなく推進でよいのでは？

⇒前回よりトーンダウンしているのは、著作権問題などクリアすべき課題があり、さらに5年間の中で検討が必要なため。庁内で写真や映像のオープンデータ化する部会が立ち上がった。メンバーとして図書館も参加。他市では小平市は盛んに取り組んでいるようなので著作権の問題をどうクリアしているか調査するなど検討はしていく必要がある。しかし、ご指摘のとおり取り組み事項ではあるので「推進」という表現に修正する方向で検討する。

- ・P5の「(3) 図書館の効率的・効果的な運営」の説明の中で、「基準書の運用」とあるが、基準書というものがあるのか？

⇒基準は作成しているが、「基準書」という表現は適切でないので、「基準」もしくは「基準等の運用」に修正する。

- ・同じ項目で、中央図書館の民間活力について記述があるが、民間委託の導入はいつ決まるのか？

⇒年内には決まる予定。現市長が民営化を公約しているので直営の堅持は困難。窓口業務を委託化したら、正職員のスキルが継承されない。窓口業務、配架、書架整理などで利用者ニーズを把握する必要があり、委託化しても正職員が窓口業務に関わる運用を検討している。

- ・効率化は必要だが、業務に精通しなくなることが心配。カウンター業務を直営で残してほしい。現場で利用者ニーズを把握しないと選書や計画は作れない。

⇒利用者ニーズを把握するために、現職員体制を極力維持できるような仕組みを検討している。

- ・第20期協議会で館長へ提言しているが、中央のあり方検討の中で、ノウハウやマネジメントを維持し、地区図書館を取りまとめてもらいたい。
- ・直営で行うべきマネジメントは堅持するよう希望する。
- ・考え方の提案だが、図書館側が積極的に提案したり、啓発するような姿勢が盛り込まれるとよい。「18 ボランティア団体等への支援と連携」では、ボランティアが全面に出ているので、図書館側が主体的・積極的にかかわる、協働するというようなニュアンスが出ると良い。

⇒表現については工夫する。

◎委員からご意見をいただいてフィードバックしたいので、次回1月の協議会で論議できるように事前に12月頃に図書館から委員にメール、文書等で問い合わせを行い、委員の意見・修正案を盛り込んで再提案をする。

◎第二次計画の第三者評価を実施したが、Cランク（不十分で計画通り実施できていない）評価の項目があった。今回の計画で同じ項目があるが、またCランクにならないように内容等修正を検討する。

(2) 第4次子ども読書活動推進計画「取組項目」等について

【図書館長より前回からの修正点等の説明】

①全体的に新規の施策はなし。既存サービスの充実が重点課題となる。表現等の修正が主。

②他課との関連取組事項については未調整。図書館内部でさらに議論が必要。

【質疑】

- ・「未読者」から「不読者」への変更について、適切な表現なのか？本を読まない方という意味でとらえられるのか？「読書のきっかけづくり」という表現でよいのではないか？

⇒教育委員会での取り扱いとの関連もあるので表現については館長のほうで検

討する。

- ・各項目に充実・継続・新規という区分けがある。継続と新規だけでよいのではないか？また項目は増えているが、廃止したものはこれまであるのか？すべてを充実させていくのは無理なので、これらの項目自体が必要ないのではないか？
⇒整理して再提案する。

3 その他

- ・議事録などが出てないが、要旨でよいので、あると良い。

⇒今回の分から要旨をまとめメール・文書等で送付させていただく。

- ・次回の協議会について

⇒1月の第3金曜日は会長の都合がつかないため、第4金曜日の1月24日とする。

(16時00分終了)